

第21回文化庁メディア芸術祭 受賞作品展



会 期：2018年6月13日(水)～24日(日)
 会 場：国立新美術館／TOHOシネマズ 六本木ヒルズ／
 インターナショナル・デザイン・リエゾンセンター／スーパー・デラックス／
 表参道ヒルズ／ルミネ新宿 他
 主 催：第21回文化庁メディア芸術祭実行委員会
 対 象：一般
 公式サイト：http://festival.j-mediaarts.jp/
 総来場者数：約52,000人

■開催内容

第21回文化庁メディア芸術祭には、アート、エンターテインメント、アニメーション、マンガの4部門に世界98の国と地域から4,192作品の応募がありました。受賞作品展では、多様な表現形態を含む受賞作品と、功労賞受賞者の功績を一堂に展示するとともに、シンポジウムやトークイベント、ワークショップ等の関連イベントを実施しました。国内外の多彩なクリエイターやアーティストが集い、“時代(いま)を映す”メディア芸術作品を体験できる貴重な12日間のフェスティバルです。

■2018年度の新規取り組みとその成果・特色など

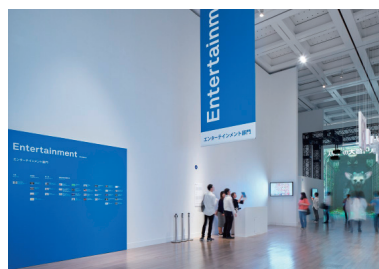
- 世界98の国と地域の4,192作品から選ばれた作品、170点以上を一堂で紹介。
- オブジェクトの知覚世界に触れるアート部門優秀賞のインスタレーション『アバターズ』を始め、鑑賞者に作品の意味を問いかけるアート作品を展示。
- エンターテインメント部門大賞のゲーム『人喰いの大鷲トリコ』に登場する実物大のトリコと触れ合うことのできる展示など、体験型の作品を展示。
- マンガ部門大賞の『ねえ、ママ』の原画など、マンガやアニメーションの貴重な関連資料等も展示。
- アニメーション部門大賞の2作品、劇場アニメーション『この世界の片隅に』と『夜明け告げるルーのうた』の上映会が決定!その他、アニメーションや実写等、多様な映像作品をスクリーンで上映を実施。
- マンガ部門の受賞作品・審査委員会推薦作品の全巻を自由に閲覧できるマンガライブラリーを設置。

■他イベントとの連携

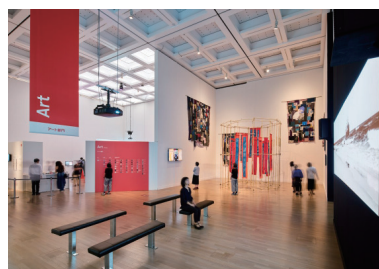
- ナイトタイムイベントとして、受賞作家や歴代受賞作家が出演したトーク&ライブパフォーマンスイベントを複数回実施。音楽とデジタルテクノロジーの祭典MUTEK.JPと連携し、一般公開前夜にライブパフォーマンスイベントを開催。
- 2018年が明治150年にあたることから、「明治150年」関連企画展示として、明治時代を舞台にしたマンガ部門優秀賞受賞作品『ニクススの角灯』の原画やパネルを表参道ヒルズの5つのフロアにわたって展示を行った。



©第21回文化庁メディア芸術祭受賞作品展の様子



©第21回文化庁メディア芸術祭受賞作品展の様子



©第21回文化庁メディア芸術祭受賞作品展の様子